

学校教育目標

豊かな心で 自ら学習し 最後までがんばる子どもの育成

平成26年度「特色ある学校づくり対策事業」の実践

自ら^{かんが}考え学ぶ子ども

健康で^{かんが}がんばりぬく子ども

やさしい子ども

けじめのある子ども

佐世保市立庵浦小学校

佐世保市庵浦町1446番地

校長 山口 仁子

児童数 8名

学級数 2学級



1 目的

本校は、学校教育目標「豊かな心で 自ら学習し 最後までがんばる子どもの育成」を目指して、学校、家庭、地域が連携し、庵浦という地域のよさを生かした特色ある教育活動を展開している。



<連合運動会の応援ダンス>

2 実践内容

(1) 他校・地域との絆を深める活動

笑顔いっぱい庵浦っ子の体験活動

小規模校である庵浦小学校は、地域の特性を生かした庵浦ならではの教育活動を実践して豊かな心を育てている。

① 地域といっしょにつくりあげる連合運動会

5月には地域と学校との連合運動会を実施している。事前に町役員と学校で話し合いを持ち、それぞれのねらいが達成できるよう配慮した。当日は晴天に恵まれ、地域の方々の温かい声援や励ましのおかげで、子どもたちはすべての競技に全力投球した。準備や片付けも子どもと一緒に協力していただき、地域との絆を深めることができた。

② P T Aと共に作る「ふるさとの海を泳ごう」

今年で3回目の開催となるP T A行事「ふるさとの海を泳ごう」では、小学校の前にある海を使って海水浴を実施した。P T Aスローガン「I L O V E 庵浦 地域を愛する子どもの育成」を図ることができた。



③ いのちの大切さを伝える栽培・収穫体験活動

町内には農業に従事しておられる方が多い。そこで、学校に隣接する田を借りて地域の方に指導を受けながら、児童が田植えから稲刈り、脱穀を体験し、もち米を収穫した。田植えと稲刈りは、俵浦小学校の五・六年生と一緒に実施した。また、さつまいも栽培の他、本年度は、びわやみかんの収穫体験も実施した。植物の成長を目のあたりにするとともに、いのちを育む生産者の努力や苦労にも気付く活動となっている。



④ 感謝の気持ちを伝える学習発表会・もちつき大会

11月の学習発表会には、保護者、地域の方を招いて、全校児童による劇やトランペット演奏・作品の展示など子どもたちの学びの様子を公開した。自分たちの住む地域を題材にし、お年寄りへの感謝の気持ちを伝える劇に感動して涙を流す方もおられた。また、発表会後には、放課後子ども教室とタイアップしてもちつき大会を行い、子ども・保護者・職員・地域の方々に参加していただいた。子どもたちとふれあう中で多くの方に学校教育への理解を深めていただく機会となった。



⑤ 近隣の学校との交流学习

環境や規模の異なる学校で学習させることにより、子どもたちに大勢の中での過ごし方、かかわり方を学ばせた。12月には、船越小学校と交流をした。本年度は授業に参加したり一緒に遊んだりして楽しい1日を過ごした。うれしいことに子どもたちは、予想していた以上に自分たちの方から交流活動に積極的に参加をしていた。1月には全学年で俵浦小学校と一緒に学校外での体験学習を行った。

(2) 心を育てる活動

今年度も植物に触れる機会を多く設け、「いのち」を大切にする活動を行った。

① 学級園・学校園での栽培活動

学級園・学校園を活用しての栽培活動をとおして、子どもたちにいのちのすばらしさを感じる機会となった。



② 花いっぱい運動

年間を通して行った花いっぱい運動。がんばらんば国体の花の栽培ではおもてなしの心を学んだ。

③ もち米・さつまいも作り

5年目となるもち米作りとさつまいもの栽培活動を行った。庵浦小学校の特色的活動として地域にも認知され、地域の一大イベントとなった。



(3) 学力充実を図る活動

今年度も基礎・基本の充実と学力向上を目指し、スキル学習、複式指導の効果的な指導のあり方について研究を行ってきた。スキル学習については、基礎基本の力の充実を図ることができた。また、日々の学習内容の定着度を客観的にはかるとともに保護者への説明資料として学力検査を行った。

① 基礎・基本の定着を目指したスキル学習

毎週木曜日（始業前）に漢字と計算のスキル学習を設定し、個々の児童の進度に合わせてプリントを用意して取り組ませることにより基礎的な内容の学習の定着を図った。



② 校内研修と読書活動の充実

研究テーマ「自ら学び主体的に活動する児童の育成～基礎・基本の定着と表現力の向上～」にせまるために「児童の基礎・基本の定着」「児童の表現力の向上」「伝える力の向上」等を常に念頭におき、日々の授業及び研究授業に取り組んだ。

へき地研究部とタイアップしたTV会議システムを活用した授業では、猪調小学校と国語の授業を行った。

③ 全学年でのN I E活動

朝日小学生新聞を活用し、新聞クイズ・記事についての感想・毎朝の記事の紹介など多くの取組を行った。最初は無反応だった児童から「これ知っている。」とか「昨日のニュースでも言っていた。」など、旬な話題に反応する児童が見られるようになった。現代の情報化社会の中で生き残る子どもの育成をねらいとした取組が効果的であった。

3 成果と課題

(1) 地域や他校との絆を深める取組

地域を教材とし、学校・保護者・地域が一体となって教育を進める体制ができた。庵浦小学校の教育に対して地域が理解を示し、子どもたちの最高のサポーターとして見守っていただいた。また、船越や俵浦小学校との交流は、本校の弱点であるコミュニケーション能力の向上の分野の改善を図ることができた。地域のシンボルとなりつつある庵浦小学校。その地域よさを学校よさに転換し、「笑顔と夢のある学校」の実現につなげていきたい。また、さらなる地域や周囲へのアプローチを通して「開かれた学校」を実現する。

(2) 心を育てる取組

本年度は、従来から継続しているもち米作りやさつまいも作りに加えて、地域の方からお話をいただき、びわの収穫体験・みかん収穫体験を行った。また、年間を通して野菜や花の栽培活動を通して、収穫の喜びを通していのちのすばらしさを伝える事ができた。心の優しい、命を大切に子どもたちが育ったことを誇りに思う。来年は、学校・保護者・地域の連携を進め、自他のいのちを心から大切に子どもたちの育成を図りたい。

(3) 学力向上に対する取組

4年生の佐世保市学力テストや6年生の全国学力学習状況調査など基礎基本の力の向上が見られた。また、新学習指導用やP I S A型学習ができる問題集を充実したことにより、子どもたちに長文を読み解く読解力や思考力が向上した。加えて、N I E教育（朝日小学生新聞の活用）を実践し、佐世保市の中心地から離れ、情報から遠くにある子どもたちの弱点の補強を図った。このことについては、一定の効果があつたが、さらなる取組の必要性を感じた。

